

第1回 大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会 議事録

1. 日時 令和5年4月13日(木) 15:00~16:30
2. 場所 大和高田市立病院放射線治療棟3階大会議室
3. 出席者
 - ・委員

| | | | |
|-----------|------------|------|------|
| 谷河照美(委員長) | 榊田義英(副委員長) | 山田全啓 | 野上恵嗣 |
| 前之園晃幸 | 酒本将稔 | 上田保秀 | 田丸勝巳 |
| 小野貴広 | 木山猛 | 原田忠夫 | 田中義久 |

 - ・事務局

| | | | | |
|------|------|------|-------|------|
| 中谷敏也 | 向川智英 | 川口千晴 | 岡本千賀子 | 川村伸治 |
| 安川雅清 | 上田直樹 | 勝本安彦 | 中本有樹 | |
4. 欠席者
 - ・委員

| | | |
|------|------|------|
| 中谷真士 | 赤井幸男 | 飯尾美和 |
|------|------|------|
5. 傍聴者
奈良県福祉医療部医療政策局地域医療連携課職員 2名
6. 資料
 - [資料1] 大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会スケジュール(案)
 - [資料2] 大和高田市立病院 新病院基本構想書(案)
 - [資料3] 大和高田市立病院 移転候補地の比較
 - [資料4] 委員会名簿
 - [参考資料1] 大和高田市立病院将来のあり方検討資料
 - [参考資料2] 大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会設置要綱
 - [参考資料3] 大和高田市立病院に関する市民アンケート結果(郵送アンケート)
 - [参考資料4] 大和高田市立病院に関する患者アンケート結果(院内設置アンケート)
 - [参考資料5] 大和高田市立病院の近鉄大和高田駅・JR高田駅周辺地区への移転整備における
県有財産の活用に関する協定書

0. 開催に当たって

- ・事務局より、配布資料の説明、委員・事務局・傍聴者の紹介を行った。
- ・委員長を谷河委員として進める。(事務局)
- ・委員長より開催にあたっての挨拶を行った。

1. 大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会スケジュール(案)

- ・基本構想の検討については、下記のスケジュールで進める予定である。

| | | |
|-----------|---|-------------|
| 第1回委員会を開催 | … | 本日 |
| 第2回委員会を開催 | … | 4月27日(木) 予定 |
| 住民説明会 | … | 5月21日(日) |
| 第3回委員会を開催 | … | 5月下旬に書面にて開催 |

〈質問内容〉

- ・住民説明会はどのくらいの規模で、どのような人を対象とする予定か?(委員)
→対象は市民全体として幅広く設定することを考えている。
案内として5月の広報誌に掲載し、ホームページにも掲載予定である。
内容については第1回および第2回の大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会にて委員から受けた意見も含めて説明する。

特に移転候補地の選定経緯、これからの病院のあり方について説明を行いたいと考えている。
想定人数としては100名程度ではないかと想定しているが、まだ把握できていない。(事務局)

- ・今回の委員会及び住民説明会の内容を9月議会でも報告する予定である。(事務局)

2. 大和高田市立病院 新病院基本構想書(案)

- ・事務局より、基本構想の検討経緯と基本構想書案について説明があった。

〈質問内容〉

- ・基本構想書の説明からハード整備方針についてはよく理解できたが、ソフト面での強化についてはどのように考えているか？(委員)
 - 人員体制については、奈良県立医科大学の協力により医師を確保できつつあり、強化が進んでいる。今後、新病院に向けて機能強化を図るにあたり、さらに体制強化を進めていく予定である。
治療内容として、がん領域においては地域に対して長年貢献してきた。今後は急性心筋梗塞に対する治療として心カテを実施するなどにより救急医療の強化を進めていくことと、公立病院として周産期医療を継続していくことは必須と考えている。(事務局)
 - 患者目線ではソフト面の強化が具体的ではなく分かりづらい。医療の体制について具体的に説明してほしい。(委員)
 - 今後は地域の医療機関ともさらに連携を強化し、将来的には地域医療支援病院の認定も目指している。
がん治療については従来からの放射線治療・化学療法・外科治療を継続しながら、緩和ケアを実施する体制を構築する。
救急医療については従来から24時間365日対応を謳っていたが、患者を断っていたところもあった。医師の体制強化を進め、応需率の向上を目指していく。(事務局)
- ・病院へのアクセス方法や駐車場の確保についてはどのように考えているか？(委員)
 - 患者アンケートからも交通アクセスへの配慮するような意見も頂戴している。
今後、大和高田市ともコミュニティバス等の公共交通機関の利用促進の策も練っていききたい。(事務局)
 - 基本構想書28ページあたりに、駐車場整備方針や交通アクセスなどについて配慮しながら検討を進めていく旨を記載しておくこと。(委員長)
- ・救急医療の強化としての24時間365日の対応方針は是非進めてほしいが、一方で医師の働き方改革も進めていかなければならず、救急に対応する医師の体制構築についても余裕をもって進めていく必要があると思うので、配慮してほしい。(委員)
 - 2次救急輪番の中で近隣病院とも協力しながら、当院だけで賄いきれない部分については補完しあいながら進めていきたいと考えている。(事務局)
- ・先ほどの説明の中で救急医療の強化について説明されているが、脳神経外科領域の強化も進めてほしい。今は患者紹介の相談をしても、対応できる医師がいないと断られて終わっている。そのような対応で終わると、開業医側の診療を止めて、紹介先を探さないといけない状況になる。病院の役割としてトリアージ機能を謳うならば、とりあえず診て、病院側で紹介先を探すような動きを取ってほしい。その点における現在の対応については非常に不満を感じている。
また、大和高田市立病院には周辺の自治体からも患者が来ているので、大和高田市単体で整備を進めるのではなく、中和地域一体として近隣の自治体にも財政的な支援を受けてはどうか？(委員)
 - 今現在は地域の医療機関の要望に応えきれないところはあると思うが、徐々に体制を整えつつある。今回のご意見も踏まえて、ぜひ良い形にしていきたいと考えている。(事務局)
- ・想定外来患者数が700名となっているが、今はどの程度か？(委員)
 - 今は800名を超えるくらいとなっている。今後、地域医療支援病院を目指す中で紹介患者を中心に受け入れていくことを考慮し、減少設定としている。ただし、患者を断っていくというよりも紹介患者を中心に受け入れていくことで、自然とこのくらいの数字になるのではないかと見込んでいる。(事務局)
 - 市立病院がこれから向かうべき方向性は、どんな患者でも受け入れていくのではなく、入院受入れを主体として、地域の開業医が手に負えないようになった際に対応できるような役割になるべきだと思う。(委員)
 - 本日の地域の方のご意見としては、市立病院が市民にとって頼りがいのない病院となっているというご指摘だと考えている。全ての患者を診るというよりも、開業医や近隣病院との連携を進めていきながら役割分担をしていくことが望まれていると思っている。

さらに今までは救急を断ってきたなかで、年々改善してきている。心臓については医師の確保はできている。脳領域については、奈良医大にも相談しているので、今後確保していきたい。(副委員長)

- ・緩和ケアを実施するにあたり、治療と在宅を行き来する形になってくるため、訪問看護が必要となると考えている。新病院へ移転した際にも訪問看護を併設する予定はあるか？
また橿原市にある「街の介護相談室」のような困り事を相談する窓口のようなものはあるか？(委員)
→訪問看護については移転を機に廃止するようなことは現時点では考えていない。開業医の後方支援としての訪問看護の必要性は感じているので、検討していきたいと考えている。
介護相談については市側の機能として考えていくことだと思っているが、病院側としてもその機能の支援をしていくことになると考えている。(事務局)
→病院にもそのような機能を持っていると、街の保健室のような役割として市民にも愛される病院になるのではないかと思う。(委員)
- ・新型コロナウイルスに対する市立病院の対応については非常に感謝している。新病院整備においては、外来でのトリアージスペースの確保、外来と透析のアクセスの工夫、病棟の拡張性など将来の新興感染症に備えたハード整備を検討してほしい。(委員)
→あり方検討の時にも感染症患者に対するハード整備にはたくさんの意見をいただいている。しっかりと考えた検討をしていきたい。(事務局)
- ・駅前に移転した際に、JR高田駅の改札は2階にあるので、改札を出てそのまま上下移動せずに病院に行けるような工夫も考えてほしい。(委員)
→現在、未来まちづくり局の方で開発事業の一環として検討している内容ではあるが、ご意見の通りデッキなどでうまくつながられるようにできたらと考えている。(事務局)
- ・5疾病6事業の方針に記載されてはいないが、精神科医療の中で今後認知症患者への対応もお願いできないかと思っている。認知症患者に対応する病室の整備なども検討してほしい。(委員)
→検討課題にさせていただく。(事務局)
- ・次回委員会までに基本構想書の内容を確認いただき、再度ご意見を伺いたいと考えている。(委員長)

3. 大和高田市立病院 移転候補地の比較

- ・移転候補地の比較資料について説明を行った。
 - ・移転候補地の比較の結果、「奈良県産業会館・駅前広場の一部」を最有力候補地として設定した。また奈良県とも県有財産の活用に関する協定書を締結し、これから実現可能性に向けた調査などを行っていく予定である。(事務局)
- 〈質問内容〉
- ・高田東高校も候補地として考えられないか？(委員)
→高田東高校については市街化調整区域のため200床未満でしか整備できないことと、ハザードマップ上で周辺が浸水地域とされているため、候補から外した。(事務局)

4. その他

- ・昨年度、奈良県としても地域の需要調査などを行った結果、今大和高田市の方で検討している内容は方向性としては間違っていないと考えている。引き続き地域の医療機関と連携を取っていき、地域の皆さんで病院づくりを進めていってほしい。(奈良県職員)
- ・次回に向けて気になることがあれば、事務局の方までご連絡をいただきたい。(事務局)
- ・次回は4月27日に同会場で開催する。(事務局)

以上